



田久保市長学歴詐称問題から学ぶ、「首相」と「首長」の違い

静岡県伊東市の田久保市長が、学歴詐称問題で批判を受けている。この問題を深掘りし、地方自治についての理解を深めていきましょう。首長とは自治体の長のことを指す。(県知事・市長・町長など)

【田久保問題の経緯】

2025年5月 伊東市長就任

6月 学歴詐称疑惑が伝えられるが、本人は否定。副議長に対し卒業証書を見せて弁明。

7月 大学側より、卒業ではなく除籍であったことが判明。

8月 この事実を自覚したうえで選挙に出ていた場合、違法となるため、委員会にて証言を求められるが、明言を避ける。対応への不信感から、議会や有権者からの批判相次ぐ。

9月 議会側が全会一致で不信任決議を提出。田久保市長は(辞職 ・ 議会解散)を選択。

首相を辞任させたい場合、どんな方法があるだろう？

国民の意思が[]！

首長を辞任させたい場合、どんな方法があるだろう？

住民の意思が[]！

■首長が辞任させられるパターン

①有権者の[]以上の署名を集め**解職請求**を行う→住民投票にて[]の賛成→辞職

《田久保市長の場合》

②次回の市長選挙にて別の候補者を当選させる(※市長の任期は[]年)

《田久保市長の場合》

③議会が[]を提出し、市長がそれを受けて辞職を選択する

《田久保市長の場合》

・不信任決議→議会解散を選択した場合も、新たに選出された議会が再度不信任決議を提出→即日失職

《田久保市長の狙い》・新たに田久保派の議員が選出されれば、不信任決議を成立させない

・選挙から新議会開始まで時間があるため、支持回復の猶予がうまれる

・在任期間が長いほど、より多くの特権や報酬は受け取れる

今回、すんなり辞職にならないのはレアなケースである。基本的には、国政よりも地方政治の方が、有権者の意思を反映させられる制度が整っている。 **ブライス**「**地方自治は民主主義の学校である**」

一方で、これだけ首長の一存で権力が行使できるのはなぜだろうか？

一部の地域では、首長や地方議員の「なり手不足」が問題になっていることもある。私たちが直接選出することで強い権限をもつため、有権者側にも大きな責任が伴うことを自覚しなければならない。



田久保市長学歴詐称問題から学ぶ、「首相」と「首長」の違い

静岡県伊東市の田久保市長が、学歴詐称問題で批判を受けている。この問題を深掘りし、地方自治についての理解を深めていきましょう。首長とは自治体の長のことを指す。(県知事・市長・町長など)

【田久保問題の経緯】

2025年5月 伊東市長就任

6月 学歴詐称疑惑が伝えられるが、本人は否定。副議長に対し卒業証書を見せて弁明。

7月 大学側より、卒業ではなく除籍であったことが判明。

8月 この事実を自覚したうえで選挙に出ていた場合、違法となるため、委員会にて証言を求められるが、明言を避ける。対応への不信感から、議会や有権者からの批判相次ぐ。

9月 議会側が全会一致で不信任決議を提出。田久保市長は(辞職 ・ 議会解散)を選択。

首相を辞任させたい場合、どんな方法があるだろう？

- ・選挙で首相以外の勢力に投票する
- ・SNSやデモ活動などで、反対の声をあげる

国民の意思が[直接反映されにくい]！

首長を辞任させたい場合、どんな方法があるだろう？

- ・署名を集めて解職請求をする
- ・首長選挙で別の候補者に投票する

住民の意思が[直接反映されやすい]！

■首長が辞任させられるパターン

①有権者の[3分の1]以上の署名を集め解職請求を行う→住民投票にて[過半数]の賛成→辞職

《田久保市長の場合》解職請求は就任1年まではできない規定がある！

②次回の市長選挙にて別の候補者を当選させる(※市長の任期は[4]年)

《田久保市長の場合》まだ就任から数か月しか経っていないため、市長選挙はまだ先

③議会が[不信任決議]を提出し、市長がそれを受けて辞職を選択する

《田久保市長の場合》議会の全会一致で提出されたものの、田久保市長は辞職せず議会解散を選択

- ・不信任決議→議会解散を選択した場合も、新たに選出された議会が再度不信任決議を提出→即日失職

《田久保市長の狙い》・新たに田久保派の議員が選出されれば、不信任決議を成立させない

- ・選挙から新議会開始まで時間があるため、支持回復の猶予がうまれる
- ・在任期間が長いほど、より多くの特権や報酬は受け取れる

今回、すんなり辞職にならないのはレアなケースである。基本的には、国政よりも地方政治の方が、有権者の意思を反映させられる制度が整っている。 **ブライス**「地方自治は民主主義の学校である」

一方で、これだけ首長の一存で権力が行使できるのはなぜだろうか？

住民たちが、自分たちで直接選んだ市長だから！

一部の地域では、首長や地方議員の「なり手不足」が問題になっていることもある。私たちが直接選出することで強い権限をもつため、有権者側にも大きな責任が伴うことを自覚しなければならない。